

設立20周年 記念講演会・祝賀会



2023年5月1日(月)15時~17時

コアレックス北5条通ビル

記念講演会 15時~

『循環型社会に向けた NPO の役割と今後について』

講師 大沼 進 (当会理事 北海道大学 文学研究院 教授)

講師 石井 一英 (当会理事 北海道大学 工学研究院 教授)

祝賀会 16時~

代表挨拶

来賓挨拶

乾杯

祝宴

閉会



ゴミック:ハイ・ムーン(高月 紘先生作)

ご 挨拶

代表理事 石塚 祐江

代表理事 東 飛郎

環境り・ふれんずの設立20周年記念講演会・祝賀会に、ご参加頂き誠に有難うございます。

20周年を迎えられたのは、市民や地域、事業者、行政からの信頼関係を一步一步積み重ねた会員の地道な活動と、また活動を通じて出会った多くの方々からのご支援ご協力があったからこそと、心より感謝申し上げます。

当会が設立したきっかけは、現在、指定管理者で管理運営している『リサイクルプラザ宮の沢』の運営を、札幌市が市民団体に委託することを打ち出したことからです。

当時、札幌市内で環境問題に取り組んでいる団体とリサイクルプラザの市民運営スタッフ(ボランティア)により『市民運営のあり方検討会』を2002年6月に発足し、「マネジメント機能を有した市民組織に委託し、市民主導の運営を実現することが望ましい」となりました。そして、検討会を母体に『市民組織設立準備会』、続いて『市民組織設立発起人会』を12月に立ち上げ、2003年2月22日に環境り・ふれんずが設立致しました。

その時の設立趣意書には、「環境り・ふれんずは、より多くの市民の意向を反映させ、市民団体・企業・行政との新しい協働関係を築き、ごみ減量と環境保全活動を通して資源循環型社会を目指す」(中略)と掲げています。このような先人の方々の熱い思いにより環境り・ふれんずは誕生しました。

本日の記念講演会並びに祝賀会は、その思いを引き継いだ活動ができていたのか、今後どこを目指して活動していくのかを考え立ち返る日と思っております。これからも、現状に甘んじることなく、常に時代を捉えた市民ニーズに応え、そして次世代のための地球環境問題を考え行動するNPOであり続けたいと思います。

今後も、会員皆さまと一緒に環境保全活動に取り組んで参りたいと存じますので、一層のお力添えをお願い申し上げ20年の節目のご挨拶と致します。

循環型社会へ KIZUKI local SDGs

SDGsの活動を支援する拠点づくり

*撮影:桑園公園の木漏れ日

「NPO 法人 環境り・ふれんず」とは

持続可能な社会を目指し、市民が互いに学び育ちあい、情報や提案を発信していく拠点として活動しています。

2002年、札幌市リサイクルプラザのボランティアとその活動を支援する協力団体の有志が集まり、ごみの減量や資源・エネルギーの循環と浪費の抑制を図り「循環型社会」を創るために市民活動組織を立ち上げ、03年2月22日に発足しました。

翌04年には特定非営利活動法人の認証を受け、ごみ減量に関わる様々な事業に取り組み、地域と連携したまちづくり・市民活動を進めています。

活動の目的

1. 環境問題を暮らしの中から見直し、
ごみの減量活動やリサイクルを推進しています！
2. 限りある資源の有効活用と未来の子供たちのために
持続可能な「循環型社会」の構築を目指しています！
3. 多くの市民団体とのネットワークを大切にしながら、
市民の意向を反映させ、企業や行政との新しい
協働関係を創造していきます！



環境り・ふれんずの活動紹介

■ 会員活動

● 会員研修・会員だより発行

毎年、会員の研修と交流を兼ねて、リサイクル工場や環境施設の見学会を実施、ごみ減量・リサイクルについて学びます。また、会の活動紹介や環境情報を掲載している「会員だより」を毎月発行。

● リユース活動

2006年10月より、リサイクルプラザ内で自主事業として生活用品のリユースに取り組む。2010年第2期指定管理者で受託事業に組み入れられた為、2011年よりECO カフェマイカップでリユース事業を展開。

現在は、桑園SDGs環境ひろばにてスペースを拡大し、ごみ減量の見える化を実施。リユース品を『計量』することで、ごみ減量と処理費用の節約額を公表している。

● ファイバーリサイクル活動

【エクスチェンジ・制服リユース・着物リユース】

2007年より衣類ごみの問題に取り組み、「さっぽろファイバーリサイクルネットワーク」の事務局を担い、家庭で不要になった衣料品のリユース・リサイクル、ファイバーに関する勉強会に取り組んだ。また、2014年度に北海道新聞エコ大賞の奨励賞に選ばれ、現在は、リサイクルプラザでエクスチェンジ(衣類の交換)、本部で制服リユース、着物リユースを行っている。

● 容器包装の簡素化活動

2008年、レジ袋の無料配布中止活動を目的に『北海道ノーレジ袋運動を進める連絡会』を設立。その翌年に発展的改組として『北海道容器包装の簡素化を進める連絡会』を設立し、事務局を担っている。

市民団体・行政・流通事業者(参加27団体)により、容器包装の簡素化展示や勉強会を開催している。

また、リサイクルプラザや桑園SDGs環境ひろばでも、プラスチックごみの削減展示を常設し普及啓発している。

● 生ごみリサイクル・食品ロス活動

2012年よりランチ事業を開始、食事を通じごみ減量の啓発を行う。

ランチで提供する食材の使い切り、食事の食べきり、生ごみの堆肥化リサイクルに取り組む。コロナ禍前は、エコクッキング教室なども行っていた。

● 食器リサイクル活動

2022年に桑園SDGs環境ひろばのオープンに伴い、大量にリユースで持ち込まれる「食器」の資源化に取り組む。但し、北海道内でのリサイクルは厳しく、リサイクルルートを探しながら、食器のあり方(買い方・使い方・捨て方)について取り組んでいる。



■地域支援活動

●桑園SDGs環境ひろば活動

2022年5月にオープン、生活用品、制服、着物のリユースを中心に、ごみ減量の啓発拠点。また、桑園地区の学校の社会科見学や、高校生や地域のボランティア活動の場としても活用されている。



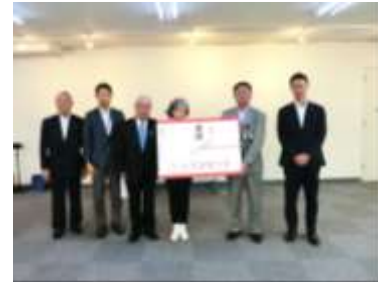
●桑園交流ネットワーク事務局

地域の市民・町内会・事業者・桑園まちづくりセンターとの連携で、地域の情報・意見交流やイベントの協力活動を行っています。札幌市中央区の助成金を受け桑園かわら版・桑園フォトコンテスト・サロン活動を行い、環境り・ふれんずが事務局を担っている。



●桑園地域交流センターくわ〜る(貸室管理)

地域の住民交流・活動拠点として、コアレックス北5条通ビル(2・3・4階)の貸室を管理している。2022年度は日本郵便㈱年賀寄付金を受け2F トイレをバリアフリーに改修した。



●YouTube 動画『桑園チャンネル』の配信

2021年度札幌市地域課題解決のためのネットワーク構築事業補助金を(3年間)受け、桑園地区連合町内会と連携し、地域の情報発信番組「桑園チャンネル」を配信。2023年度からは桑園地区連合町内会や地域の団体・企業のご協力で、継続運営することが可能になりました。



■自主事業

●ECOカフェマイカップ

2009年8月にオープンし、地域交流の拠点として、エコな情報やイベント情報を発信しています。エコ製品の販売・ホールや会議室などの貸室の管理を行い、エコクッキングを意識したランチ(550円)は水曜日に営業している。



■受託事業

●札幌市ごみ減量実践ネットワーク(通称:スリムネット)

フォーラム管理運営・ポスターコンクール作品整理作業

スリムネットフォーラムは、第1回から運営管理を受託し、その他ポスターコンクールの作品整理なども行っている。



●リサイクルプラザ宮の沢の管理運営

環境り・ふれんずの主力事業として、2003年より札幌市から受託し、2023年度より第5期指定管理者として管理運営している。

リサイクルプラザ宮の沢は、札幌市のごみ減量の意識を啓発する施設として、大型ごみのリユース・教室や講座の開催・イベントごみ減量の推進・市民参加型イベントの開催や、環境イベントの開催・情報紙「ごみニュケーションさっぽろ」の発刊など、市民ボランティアと共に活動している。また、自主事業として「エクスチェンジ(洋服の交換会)」「フリーマーケットの開催」「資源の拠点回収」なども積極的に行い、2022年度はコロナ禍でも過去最高の7万人の市民が来館しました。



活動年表 ※継続事業は一部省略

2002年	・リサイクルプラザの市民運営のあり方検討会、・市民組織設立準備会・市民組織設立発起人会
2003年	・市民団体組織「環境り・ふれんず」発足 ・札幌市リサイクルプラザ宮の沢管理運営を受託
2004年	・子ども向け環境教育ツールの開発、・札幌市生ごみハンドブック普及事業受託 ・生ごみ減量・リサイクル講師派遣事業受託、・ごみゼロ推進北海道大会 2004 の企画運営受託
2005年	・生ごみ堆肥化セットの普及販売事業受託 ・さっぽろスリムネット機関紙発行及びHP管理受託、フォーラムの運営業務受託*現在(毎年) ・ごみゼロ推進北海道大会 2005 の企画運営受託
2006年	・リサイクルプラザ宮の沢(第1期指定管理者)管理運営を受託 ・生ごみリーダー養成講座運営事業・コンポスト助成事業受託 ・3R推進北海道大会 2006 の企画運営業務、リサイクルプラザ(自主事業)でリユース事業開始
2007年	・ファイバーリサイクル(衣類・繊維)活動 ・ノーレジ袋運動開始 ・3R推進北海道大会 2007 の企画運営業務
2008年	・さっぽろファイバーリサイクルネットワーク事務局~*現在 ・北海道ノーレジ袋運動を進める連絡会事務局、・3R推進北海道大会 2008 の企画運営業務
2009年	・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会事務局~*現在 ・ECOカフェマイカップ推進事業開始、・桑園交流ネットワーク事務局~*現在
2010年	・リサイクルプラザ宮の沢(第2期指定管理者)管理運営を受託 ・札幌市市民まちづくり活動推進助成金「ECO カフェサロン事業」 ・北海道CGCみどりところの基金「ECOカフェ広報事業」 ・イオン環境基金助成金「ECOカフェマイカップ事業」、・ホクレンショップレジ袋削減運動協力御礼助成金 ・「容器包装の簡素化を進める全道移動展示及び市民の意識調査」活動
2011年	・東日本大震災復興支援ボランティア活動
2012年	・『エクスチェンジ(洋服の交換会)』開始
2013年	・環境り・ふれんず設立 10 周年記念祝賀会、・東日本大震災応援フリーマーケット開催 ・3Rを進める北海道地域会議に参画「容り法の市民案をまとめる」
2014年	・リサイクルプラザ宮の沢(第3期指定管理者)管理運営を受託
2015年	・NPO 法人北のごみ総合研究所の事務局受託~*現在
2016年	・札幌市拠点活動整備事業補助金採択 ・札幌市資源リサイクル事業協同組合事務局受託~*現在 ・3R・低炭素検定 北海道会場事務局(第9回開催)~*毎年開催
2017年	・桑園地域交流センターくわ~る事業スタート ・桑園第6町内会事務局~*現在 ・『制服リユース事業』開始
2018年	・リサイクルプラザ宮の沢(第4期指定管理者)管理運営を受託 ・環境り・ふれんず設立 15周年記念講演会・会員懇親会
2019年	・ECOカフェマイカップ10周年、・地域のお茶の間「暮らしサロン」開始 ・被災地支援活動「胆振東部地震(安平町)」へ寄付
2020年	・多目的ホール(5F)開設、・『新型コロナウイルス札幌ささえあい基金』へ寄付 ・ECOカフェマイカップ改装(ランチ事業強化)
2021年	・リサイクルプラザ(ちえりあ改修工事にて)コアレックスビル5Fに臨時移転 ・札幌市地域課題解決のためのネットワーク構築事業採択(3年).YouTube「桑園チャンネル」配信開始
2022年	・桑園SDGs環境ひろばオープン、・本部事務所を同ビルの2Fから5Fに移転 ・日本郵便(株)年賀寄付金を受け多目的トイレ(バリアフリー化)に改修。
2023年	・リサイクルプラザ宮の沢(第5期指定管理者)管理運営を受託 ・環境り・ふれんず設立 20 周年記念講演会・祝賀会 ・HRM ホールディングス(株)助成金を受け桑園チャンネルの継続、リユース着物でまちおこし事業を開始

環境り・ふれんず メモリーフォトグラフ



S = 桑園で
D = 出会う
G = 元気になる
S = スポット(場所)

桑園SDGs環境ひろば

桑園SDGs(エスディーズ)環境ひろばは、
日々の暮らしを明るく楽しく
 そんな生活を応援します

活動曜日・時間
 月曜日～土曜日 11:00～17:00
 (SDG, SANBINKO)





特定非営利活動法人 環境り・ふれんず

【設 立】2003年2月22日

【法人格取得】2004年2月9日

【代 表 者】代表理事 石塚 祐江
代表理事 東 飛郎

【会 員 数】35名(賛助会員含む 2023年5月現在)

〒060-0004

札幌市中央区北4条西15丁目1-53

コアレックス北5条通ビル5F

TEL:011-618-0530 FAX:011-215-9937

E-メール:refriends@sapporo530.or.jp

ホームページ: <http://refriends.jimdo.com>